

原田 竜馬

はらだ

りょうま

活動報告レポート
Vol.2



私にとって2回目の定例会となる第3回定例会がありました。第3回定例会では、「決算特別委員会」も開催され、令和4年度決算について適切な支出であったかどうかの審議もありました。一般質問に加え、決算特別委員会でも多くの質問を行いました。今回は、一般質問での内容についてお知らせさせていただきます！

議会活動 ～第3回定例会、一般質問～

区内における投票率向上の取組み、

主権者教育のあり方について

- 原田：4月の区長・区議会議員選挙では、多摩美術大学統合デザイン学科と連携し啓発を実施したが、今後の更なる投票率向上の取組みについて。
- 区：多摩美術大学と協働した取組は、複数の新聞で取り上げられ、SNSでも反響があった。今後も、若者の投票率向上プロジェクトを継続し、さらなる展開を模索する。
- 原田：模擬選挙等の出前授業を小・中・高校等で実施しているが、多くの児童生徒に対する出前授業の実施が大切だ。また、模擬選挙の内容は架空のテーマではなく、児童生徒が現実に関わるような問題を扱うべきだ。
- 区：実際に身近な問題を扱うなど、指摘を踏まえつつ、より効果的な内容となるよう、教育委員会や若者の意見も伺いながら検討する。
- 原田：子どもや若者の声を社会に反映させるため、子どもや若者の意見表明権の確保と、自らが社会を変える方法をより具体的に学ぶことが重要だと考えるが、教育振興基本計画策定においてどのように位置づけるのか。
- 区：主権者教育について、人権教育、道徳教育の充実の観点からも、自ら社会に働きかける必要性を位置づけ、児童生徒が社会の仕組みに変化をもたらすことを実感できるよう取組を進める。

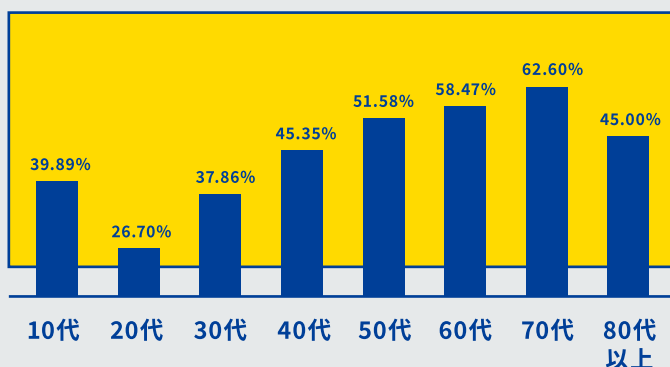


投票率の高いスウェーデンの小学校の教科書では、「署名を集めましょう」「人々を集めてデモを行いましょう」「責任者の政治家に直接連絡を取りましょう」といったことも教えていることを事例として紹介しました。

「スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む、鈴木 賢志、新評論」

2023年4月

世田谷区議会議員選挙年代別投票率



地域運営学校(学校運営委員会)の運営システムの在り方と児童・生徒の参画について

- 原田：学校を地域で支える仕組みとして、「学校運営委員会」と「学校協議会」の二つの会議体がある。委員の負担が大きい、学校運営委員会が形骸化しているといった課題がある。改善のために教育委員会が各運営委員会の実態を詳細に把握すべきだ。
- 区：指摘の課題は認識している。新たな運営の形態や内容等の情報提供や提案を行うなど、各校がより効率的な手法を用いて、効果的な活動が実施できるよう支援を行う。
- 原田：子どもたちの抱える課題の解決、児童・生徒の意見表明の機会の確保と反映のためにも児童・生徒が学校運営委員会に参画すべきだ。
- 区：児童生徒に意見を述べる機会をつくり、学校運営等に反映していくことの大切さを各委員会へ周知する。各校が児童生徒の意見を聴き、地域と共にある学校づくりに活かしていけるよう支援をする。

パートナーシップ制度の異性間カップルへの適応について

●原田:事実婚の形態をとるカップルは増加傾向である。夫婦別姓の議論が停滞している、そして事実婚を肯定している18歳も約8割いる。区では、同性パートナーカップルに対して宣誓制度を設けてきたが、今後は、事実婚カップルにも適用範囲を拡大すべきではないか。

●区:選択的夫婦別姓などの法整備を待たないと解決できない事象を除き、日常生活での支障やニーズを把握する必要がある。その上で、区として対応が必要な取組を検討していく。

パートナーシップ制度とは、

自治体が独自にLGBTQカップルに対して「結婚に相当する関係」とする証明をし、様々なサービスや社会的配慮、理解を受けやすくする制度です。

墨田区や武蔵野市などでは、同性異性問わないパートナーシップ制度を制定しています。

決算特別委員会

決算特別委員会では、分野横断で質問ができる、「総括質疑」と「補充質疑」、分野ごとに別れている「企画総務」「区民生活」「福祉保健」「都市整備」「文教」があります。私は、「福祉保健」で、ひきこもり対策について、「文教」の領域にて、児童生徒と先生間の呼称や関係性、保育園や学童の配置基準、学校の校則策定について質問を行いました。

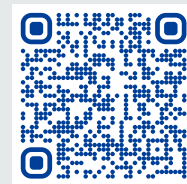


アーカイブ動画はこちらから! ▶

詳細は、こちらからご覧いただけます!



福祉保健



文教

5月-8月 議員としての様々な活動



1

団体ヒアリング。地元で活動される各団体から要望を聞き、世田谷区の次年度予算へ反映していくためのヒアリングを、毎年会派で実施しています。



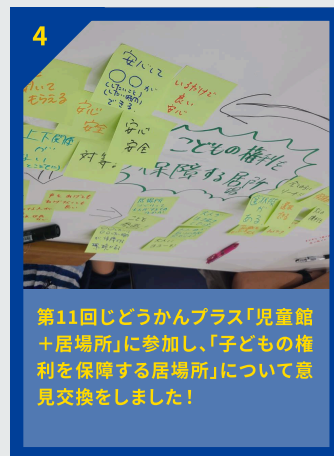
2

下北沢東会主催「下北沢盆踊り2023」を実行委員として開催!当日は、入場規制をするほど多くの方にお越しいただきました!



3

北澤八幡神社例大祭の4年ぶりの宮入り、私が所属する宮本睦で神輿を担ぎ、渡御をいたしました!



4

第11回じどうかんプラス「児童館+居場所」に参加し、「子どもの権利を保障する居場所」について意見交換をしました!



LINE QR



HP QR

議員になり数か月、街の問題からプライベートなお困りごとまでお声をいただきました。「こんなこと相談してもいいの?」といったことでも、実はお役に立てることが多くあります。お気軽にご連絡下さい!
(区政についても発信しています!お気軽にご登録下さい!)

プロフィール

- ・1996年9月23日、27歳、世田谷区代沢在住
- ・淡島幼稚園、代沢小学校、富士中学校、駒澤大学高等学校、駒澤大学文学部社会学科卒
- ・野球チーム所属歴:CCペガサス、上馬シニア野球クラブ、中学・高等学校野球部
- ・大学卒業後は、公共政策系コンサルティング会社を経て衆議院議員落合貴之の公設秘書を務める。
- ・2023年、世田谷区議会議員選挙で最年少の26歳での当選
- ・所属会派:立憲民主党・れいわ新選組世田谷区議員